

人みなを命をあげめ 我が力 我が誠 世のために尽くさん



校長 柿崎悦子

年度初めに、本校での学びについて、能動的に学ぶ姿勢を確立し、その姿勢を貫いてほしいという話をしました。様々なことに目をむけ、興味をもって積極的に学ぶことであり、それは、決して独りよがりな学びではなく、クラスメイトと関り、他を認め、共に学び、成長していく学びです。学校だけではなく、社会の様々な人々とも関わり、自分を磨いていく学びです。

その社会は今、インダストリー4.0(第4次産業革命)、ソサエティー5.0(第5の社会)に移行しつつあります。皆さんが生きる二十一世紀は、AIによる自動運転など、自立判断・調整化する機械の実用化が進み、ビッグデータに基づく最適化された生活が実現し、労働力が人口知能やロボットに替わっていきます。農耕社会、工業社会、情報社会と段階的に発展してきた社会が、世界規模で急速に変わり、私たちはどう生きるかを問われ、人間性がより求められる時代となるでしょう。その潮流の中でも、この社会を創っていくのは皆さんです。人との関係性の中で、感性を磨き、他を思いやり、考え実行し、失敗しても知恵を出しあいながら支えあい、豊かな社会を創るために、この学校で学びましょう。

本校での三年間の学びを通し、基礎となる学力をしっかり身に付け、卒業後は、高い志を持って、変動的で不確実で複雑性が高く、曖昧性もある予測不可能な社会であっても、その未知なる世界に果敢に挑戦し、しなやかな思考で新たな価値を創造し、豊かな社会づくりに貢献することが、興讓館で学ぶ者の使命であり誇りです。

本校の校歌三番、「人みなを命をあげめ 我が力 我が誠 世のために尽くさん」は、他を尊重し、自己を鍛え、世に貢献しようとする、連綿と受け継がれてきた興讓館の「こころ」です。高い志をもって様々な事にチャレンジし、自らを磨き、新たな次代を切り拓くリーダーを目指す米沢興讓館生であることを期待します。(式辞より)

令和元年7月 日発行
第45号
**山形県立
米沢興讓館高等学校**
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>



学びによる楽しさ

一年一組 太田 和佳
(南原中出身)

入学当初は学業や友人関係に対して強い不安を抱いていました。しかし、今は高校生活を楽しんでいます。それは、個性豊かで高い目標を持ったクラスメイト、そして毎時間、新たな気付きを与えてくださり、様々な角度からご指導してくださる先生方のおかげです。

高校生になって学習する教科が倍近くなりました。宿題・教科書の重さも倍になりましたが、得られる知識、楽しさも倍になりました。今は勉強する事が本当に楽しくて楽しくて仕方がありません。私が入学式で宣言した「自分に厳しく、目標達成のために努力を重ねる」という事を常に心に留めて毎日悔いなく過していきたいです。私は入学前までは将来の夢があったのですが、興讓館に入学してから自分の目指す姿が分からなくなり、夢を探している最中です。私の将来のビジョンはまだ不明瞭ですが、今こうして楽しんで勉強の出来るという環境が非常に価値高いものである事を十分に理解し、日々学業に励んでいきます。そして、興讓館生として世のために尽くせる人間を目指します。

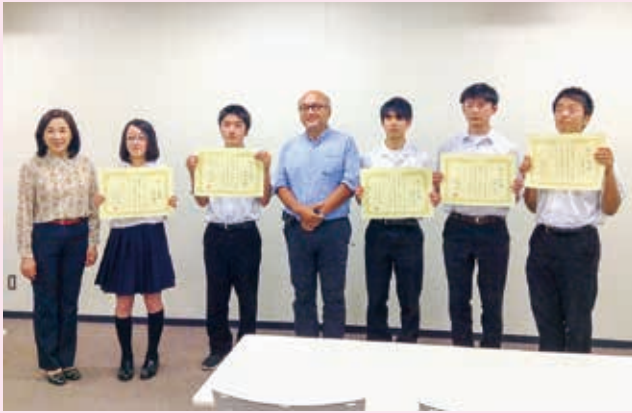


スーパーサイエンスハイスクール活動紹介

研究活動を通して培ったもの

三年三組 高橋 勇輝
(米沢六中出身)

私たちコアスーパーサイエンスクラブの三年生は、昨年度の秋ごろからおよそ半年間にわたって山形大学工学部の先生方や大学院生の方々にご指導をいただき、研究活動を行いました。化学・生物・物理・情報などそれぞれが興味を持っている分野にわかれてテーマを設定し、研究活動に取り組んだ後、その成果を英語で発表しました。高いレベルの研究活動をさせていただいたことで実践的な知識や技術を身につけられただけでなく、英語でのプレゼンテーションを通して自分の考えを相手に伝える力や自信が積みましました。この貴重な経験を糧に、これからも研究に励んでいきたいと思えます。



探求成果発表会

三年一組 佐藤 旭
(中出身)

五月二十二日に校内で探求成果発表会が行われました。私達三年生にとっては一年間行ってきたSSH活動の集大成となった大会でした。今回最優秀賞をいただき、全国大会に繋がったことをとても嬉しく思っています。

私たちの班は濃厚溶液が希薄溶液に比べ沸点が高くなる原因について研究してきました。実験よりもその後の考察の方が難しかったですが、班員全員で最後まで諦めずに考え続けることができました。成果につながったと思っています。また、山形大学の神戸士郎教授には多くの助言をいただき、更にNMRという貴重な実験装置を使わせていただき大変ありがたく思っています。

全国発表では私達の研究が多くの方に支えられている事を忘れずに、レベルの高い発表が出来るように頑張ってきます。

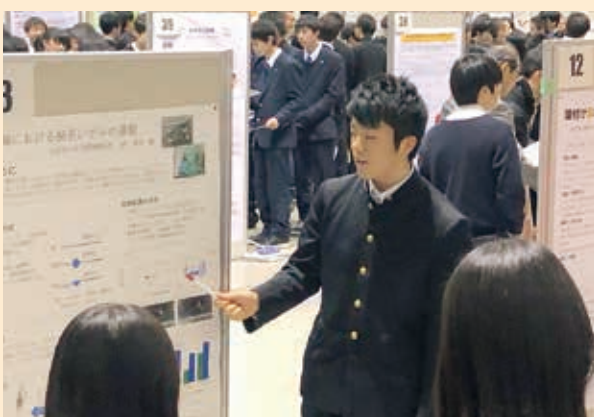


第四十三回全国高等学校総合文化祭 佐賀大会

檸檬

三年一組 香田 駿
(中出身)

七月二十六日から四日間、佐賀県にて全国高校総合文化祭が開かれます。僕はその「自然科学部門」に参加してきました。タイトルは皆さんご存知かもしれませんが、「流れ場における細長いゲルの運動」です。この研究が全国大会に行けると知った時は本当に嬉しかったです。今度の全国大会ではスライド発表なので、また一風変わった発表形式での練習をして備えます。全国の名の通りレベルが段違いです。中には内容が高校の範囲ではないレベルもあります。その中でも、半年間の成果を出すために頑張ります。応援よろしくお願ひします。



圧倒的『質問』力

三年一組 鈴木 沙耶加
(米沢三中出身)

三月七日、理数科二十四名で国立台湾師範大学附属高級中学の生徒と交流しました。最も印象に残ったのは授業体験です。想像以上の迫力です。ほとんどの生徒が質問のために「先生。」と声と手を上げました。その様子が圧倒されました。その質問の賜物なのか理解も行動も早く、驚きに溢れる時間を過ごしました。中には、自分たちと同じ高校生であることを実感した出来事もありました。週末のテスト勉強も抜かりなしです。

附中生も私たちと同じ高校生です。彼らのように、学問への自分自身から湧き上がる興味や好奇心を大切にしたいものです。

高等学校 総合体育大会

正射必中

三年三組 田中 愛音(米沢一中出身)

私は、県高校総体で個人優勝し、六月に秋田県で行われる東北大会、八月に宮崎県で行われるインターハイの出場権を得ることができました。

東北大会では、個人準優勝、射道優秀賞獲得という結果でした。緊張に負けず、自分の射ができたと思います。しかし、この結果に満足せず、インターハイでは、去年予選敗退となった悔しさを胸に、一つでも上の舞台で射できるような全力を尽くしたいと思っています。いつも支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、共に高みを目指し練習に励んだ仲間への思いを胸に、正々堂々戦ってきます。応援よろしくお願いします。

高校最後のインターハイ

三年三組 大西 ひかる(米沢三中出身)

今年度は鹿角島でインターハイが開催されます。自分は一昨年、昨年に続き三度目の出場となりました。前回まではフルレ個人のみ出場でしたが、今回はフルレ個人、エペ個人の二種目の出場権を得ることができました。

前回のインターハイでは、予選は突破できなかったものの一回戦で敗退という悔しい結果だったので、昨年の反省を生かして今回は相手の気にしすぎずに自分のベストを出せるように準備していきたいです。高校最後のインターハイを悔いなく終えらるるよう頑張っていきます。



部活動の記録

令和元年度 置賜地区高等学校総合体育大会

- ☆団体
 - 《第1位(優勝)》 柔道女子、弓道女子、登山男子、登山女子
 - 《第2位》 剣道女子、バスケットボール男子、卓球男子、フェンシング女子、ホッケー男子、ホッケー女子、水泳男子、水泳女子
- ☆個人
 - 《第1位(優勝)》
 - ソフトテニス/今井友輝・種村 翔、卓球/シングルス 土屋慶智
 - フェンシング/フルレ 大西ひかる、エペ 大西ひかる
 - 柔道/女子52kg級 鈴木咲希、弓道/岩松里奈
 - バドミントン/女子ダブルス 原 雅・原 環
 - 水泳/女子自由形200m 佐藤久莉、自由形400m 尾形綺音
 - バタフライ100m 佐藤陸希、バタフライ200m 佐藤陸希
- 《第2位》
- 陸上/男子100m 佐竹智弘、女子800m 齋藤帆野花
- 女子1500m 黒田愛奈
- 弓道 田中 愛音、バドミントン/女子シングルス 原 雅
- 水泳/男子自由形200m 小川永雅
- フリーリレー4×100m 梅津航介・小川永雅・金子 太・鈴木俊介
- 女子自由形100m 佐藤久莉、背泳ぎ200m 菅原美育
- 背泳ぎ100m 菅原美育、平泳ぎ100m 田村若菜
- フリーリレー4×200m 尾形綺音・菅原美育・木村朱寿・佐藤久莉
- メドレーリレー4×100m 菅原美育・田村若菜・佐藤陸希・佐藤久莉

令和元年度 山形県高等学校総合体育大会

- ☆団体
 - 《第2位》
 - 《第3位》
 - ☆個人
 - 《第1位》
- ホッケー男子(東北大会出場、第3位)
- ホッケー女子(東北大会出場)、フェンシング女子
- 弓道女子
- 弓道/田中愛音
(インターハイ出場決定・東北高校総体第2位)
- フェンシング/フルレ 大西ひかる、
エペ 大西ひかる
(東北大会出場、フルレ第5位、エペ第3位)
- 水泳/女子高飛込 戸田萌々香、3m飛板飛込 戸田萌々香
(以上東北大会出場)
- フェンシング/エペ 我妻彩菜
- 卓球/ダブルス 土屋慶智・黒金創一郎
- 水泳/女子800m自由形 尾形綺音
- 400m自由形 尾形綺音
- 200mバタフライ 佐原陸希
- 100mバタフライ 佐原陸希
- 200m自由形 佐藤久莉、100m自由形 佐藤久莉
- 背泳ぎ200m 菅原美育、100m平泳ぎ 田村若菜
- 女子400mメドレー、女子400リレー、女子800リレー

東北大会出場

体育祭

総合優勝	3年5組
男子総合	3年3組・3年5組
女子総合	2年5組
男子サッカー	3年3組
女子サッカー	1年2組
男子バレー	3年5組
女子バレー	2年5組
クラス対抗長縄跳び	3年4組・2年4組
男子騎馬戦	3年生
女子綱引き	3年生

委員長としての体育祭

■年■組 **武田 起樹**
(米沢四中出身)

今年委員長として体育祭に参加して、運営側もしながら競技に参加するということがとても自分にとって難しいことでした。しかしそれ以上にクラスの人と共に全力で挑むのが楽しくて、とてもいい思い出になりました。

体育祭が終わった後、体育祭楽しかった！と笑いあっているのを見て本当に成功してよかったと思います。皆さんが本気で競技に取り組んでくれたおかげで体育祭を成功させることができました。本当にありがとうございました。



ハレとケの間に

三年五組 近藤 駿介
(米沢三中出身)

先日、雲ひとつない晴天のもとで体育祭が行われました。それぞれのクラスが勝利を求め闘争し、一人ひとりが内包しているエネルギーを爆発させた祭典でした。そんな体育祭で自分のクラスが総合優勝を飾れたことを本当に嬉しく思います。米沢興譲館の魅力は、ハレとケの間は言わずもがな、行事や祭りに全員が一生懸命取り組めることだと思います。だからこそ、ハレとケの両方で刺激のかつエモーショナルな日々を過ごせるのでしょう。その日々の楽しさを余すことなく享受しながら、これからも生きていきます。

❖ 二学期の行事予定 ❖

- 8月19日 始業式・課題テスト
- 8月23日 合唱コンクール・興譲祭
- 9月14日 地区高校新人大会 (15/24日)
- 9月19日 創立記念日・式典 (15/24日)
- 9月20日 異分野融合サイエンスA④
- 9月25日 自治会役員選挙
- 10月2日 二学期中間評価 (27日)
- 10月10日 マラソン大会
- 10月11日 県高校総合文化祭賞賜大会
- 10月12日 県高校新人大会(前期) (13日)
- 10月16日 高鍋高校交流 (17/13日)
- 10月24日 異分野融合サイエンスB① (17/13日)
- 10月31日 避難訓練②
- 11月2日 県高校新人大会(後期) (3日)
- 11月13日 SSR中間発表会
- 11月14日 異分野融合サイエンスB②
- 11月21日 期末・学年末評価 (26日)
- 12月1日 2年普通科関西キャリア研修
- 12月4日 1年F東京探究研修 (4日)
- 12月12日 異分野融合サイエンスB③ (6日)
- 12月23日 異分野融合サイエンスB④ (6日)
- 12月23日 終業式

❖ 一学期も熱く燃えろ❖